

4 歳児 年間指導計画

		I期（4月～5月上旬）	II期（5月中旬～7月）	III期（9月～10月上旬）	IV期（10月中旬～12月）	V期（1月～3月）
子どもの姿		・進級したことに喜びを感じ、喜んで登園してくる子どもが多い。 ・新しい環境や新しい担任保育者、合同クラスとなった子どもの多さに不安感や緊張感のある子どもがいる。 ・身近な環境に興味や関心をもち、それを自分の遊びに取り入れて楽しんでいる。新しい環境に刺激を受けて、やりたいことを見つけ、保育者に手伝わもらいながら実現させることを喜んでいる。 ・一人で黙々とやりたいことを見つけては取り組む子どもや同じ場に居合わせたもの同士で遊ぶ子ども、元々クラスが同じだった気の合う友達と一緒に遊ぶ子どもなど、人との関わりも様々である。 ・身近な春の生き物や草花に関心をもち、じっくり見たり、触れたり、飼育ケースに入れたり、絵本や図鑑と見比べたりしている。	・新しい担任保育者とも信頼関係もできてきて、安心して過ごしている。 ・連休明けには、生活のリズムが崩れ、不安定になっている子どももいる。 ・園での生活の仕方や流れが楽しく、できることを自分なりに考えて行動している。 ・水遊びでは、水への抵抗感や楽しみ方はかなり個人差がある。 ・自分なりに考えたことや思いついたことをやってみる姿が多くみられる。遊びの中で自分なりに思いをもち、じっくりとものやことに向き合い、考えたり工夫したりして楽しんでいる。 ・年少組のときの気の合う友達との関係を基盤に、徐々に年中組になり初めて同じクラスになった友達や年少組の時とは異なる友達との関わりが増える。 ・気の合う友達と誘い合って遊んだり、イメージを共有しながらごっこ遊びをしたりする。 ・自分の思いついたことや考えたことを言葉で表し、気の合う友達とやりとりを楽しんでいる。	・登園後の準備をスムーズに終え自分のしたい遊びを見つけ、意欲的に遊び始める。 ・夏休み明け不安定な様子の子どももいる。 ・自分のしたい遊びの中で、思いをより強くもって遊ぶようになり、「どうしたらうまくいくだろう」と粘り強く取り組む場面も見られるようになってくる。 ・気の合う友達と一緒に遊ぶことがより楽しくなってくる。気の合う友達だからこそ、互いのことが分かって、互いに通じることが嬉しい。 ・教育実習生に親しみをもち、自分から関わる。 ・クラスみんなで運動遊びに取り組み、気持ちを合わせたり、力や声を合わせたりすることを楽しむようになる。	・新たな遊びや経験の少ないこと等に挑戦しようとする。 ・自分なりに目的をもち、それを実現するために考えたり、工夫したり、繰り返しやってみたりして取り組んでいる。 ・相手がしていること、やろうとしていることが分かり、力を合わせたり、相手に合わせて行動したりする。 ・クラスでの共通の話題や簡単な目的を分かり、みんなと一緒にする活動に一人一人が思いをもち楽しみながら参加している。 ・複数人で一緒に遊ぶ姿が増えてくる。 ・どんぐり等、身近な秋の自然物を集めたり、遊びに取り入れたりしている。	・自分がこれまで消極的だった遊びや経験が少ないことに取り組む姿が増え、楽しみながら継続して取り組んでいる。 ・自分なりに感じたことや考えたことなど意見を出し合って、取り組む中で、新たな気づきが生れ、それを生かして次に取り組む姿が見られる。 ・目的をもち、その実現に向けて友達と一緒に考えたり、工夫したりしながら協力することを楽しんでいる。 ・雨や氷等冬の自然現象に興味をもち、見たり触れたり、不思議さや面白さを感じたりしている。 ・クラス全員でイメージを共有したり、同じテーマで考えを出し合ったり、声や気持ちを合わせたりして活動することを楽しんでいる。
ねらい	自分から	○新しい環境での生活に慣れ、安定して自分で生活をを進める喜びを味わう。 ○新しい環境での生活の仕方が分かり、自ら行動しようとする。	○慣れ親しんだ園庭で自然に触れて遊び、自分たちで見つけたり探したりすることを繰り返し楽しむ。 ○自分の身の回りのこと等、自分で考え行動することを楽しむ。	○好きなこと、得意なことに満足いくまで取り組み、やり遂げる。 ○様々な道具や道具といった環境に合わせて、うまく体を使える喜びを感じる。	○1日の生活の流れを理解し、自分で考えて行動し、遊びや生活を自分進で進めようとする。 ○経験のないことや苦手なことにも取り組みようとする。	○大きくなった自分を自覚し、様々なことに期待をもって意欲的に取り組む。
	創造する	○新たな環境に積極的に関わったり、遊びや生活に取り入れたりすることを楽しむ。 ○自分でつくったりかいたりした物を使って遊んだり飾ったりすることを楽しむ。	○身近な生き物や草花や実等を使って遊ぶ中で、大切にしようとする。 ○ごっこ遊び等、イメージを友達と共有してやりとりして遊ぶことを楽しむ。	○二つ以上のものの関連性が分かり、比べたり関連づけたりして遊ぶことを楽しむ。 ○失敗をしても、諦めずに繰り返すことを楽しむ。	○予測して確かめ、試行錯誤を重ねて探究することを楽しむ。 ○イメージを友達と共有し、やりとりしながら遊びを進める楽しさを味わう。	○自分たちの考えを深め、実現させる喜びを感じながら遊ぶことを楽しむ。 ○言葉ややりとりしながら、細かな設定や工夫を共有し、多面的に考えようとする。
	人とともに	○様々な友達がいることに気付き、一緒に過ごす楽しさを味わう。 ○人数が多くなったクラスで自分の居場所を見つけ、一緒に過ごす楽しさを味わう。	○気の合う友達と分り合って遊ぶ面白さを感じる。 ○自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。	○自分と相手の考えは時に異なることも理解し、やり取りすることを楽しむ。 ○自分の意見を押し通すだけでなく、時には相手の意見を聞きながら遊びや生活をを進める楽しさを味わう。	○クラスのつながりを感じ、その中で役割を果たすことを積極的に楽しむ。 ○友達と意見を出し合い、遊びや活動を進める楽しさを味わう。	○友達と共通の目的や思いをもって協力して取り組もうとする。
内容	健康	・新しい環境中でも安心して生活を始める。① ・手を洗う、片付けをする、着替えるなど、生活に必要なことを知り分かって、自分しよとする。② ・運動場やこどもの森で思い切り体を動かして遊ぶ。③	・砂・土・水に触れ、プール遊びでは全身を使って気持ちを解放して遊ぶ。① ・水の危険についても知り、保育者の指示に従ってルールを守って行動しようとする。② ・保育者の声掛けに、水分補給や休息などをしながら元気に過ごそうとする。③	・様々な道具にチャレンジしたり、道具を使ったりし、うまくできた喜びを感じる。① ・運動会に向けての活動を通して、走る・投げる・跳ぶなどの動きを思い切り楽しみ、失敗してもあきらめずに取り組もうとする。② ・自分の体調に気付き、活動と休息のバランスをとったり、水分補給をしたる。③	・様々な道具や用具を操作し、力を入れたり、回ったり、跳んだり存分に体を動かす。① ・手洗いやうがいなどの感染症予防も進んで行おうとし、自分でできたことに自信をもつ。② ・子ども同士で考えて行動し、遊びや生活を自分進で進めていく。③	・友達と声を掛け合いながら片付けや準備などを自分たちで進めていく。①
	人間関係	・昨年度かつながりのある友達と安定して遊ぶ。④ ・順番などのルールを守って生活することの心地よを知る。⑤ ・道具や用具を大切にし、皆で共有して使う。⑥ ・遊びを通して新たな友達との出会いやつながりをもつ。⑦	・ごっこ遊び等では、友達を見て真似たり、互いの言葉や動きを分かって共感する。④ ・友達との関わりを深め、思いやりをもつ。⑤ ・よいことや悪いことに気付き、考えながら行動する。⑥ ・クラスの中で自分の思いを主張しようとする。⑦	・遊びや生活を通して友達のいろいろな面に気付く。④ ・グループやクラスでの活動を通して、自分が友達や実習生の役に立つ喜びを感じる。⑤ ・運動会等の活動を通して、クラスの仲間の個性を知り、みんなで力を合わせるおもしろさを味わう。⑥ ・実習生と出会い、担任保育者とは違う個性や考えに触れる。⑦	・友達と関わる中で、イメージや思いを共有し、共通の目的を見いだし遊ぶ中で、意見を出し合ったり聞き合ったりする。④ ・遠足等で地域へも出掛け、地域で暮らすいろいろな人に関わる。⑤ ・異年齢の友達との関わりも増え、いたわったり大切にしようとする。⑥	・同じ目的に向かって、相談しながら協力して取り組み、やり遂げる喜びを味わう。③
	環境	・自分なりに安心できる好きな道具や居心地のよい場所を見つける。⑧ ・身近な虫や草花の生態に関心をもち、生き方や姿形にも目を向ける。⑨	・身近な生き物や草花や実等を見たり触れたり遊びに取り入れたりして大切にしようとする。① ・花と虫の関係や食物連鎖等、生き物同士のつながりを園庭の中で見つける。② ・色や形の多様性に気付いたり、大きさや長さ、量などを比べ、その中で違いに気付いたりする。③	・身近な虫や月の満ち欠け、雲の動き等、秋の自然や自然現象に興味関心をもつ。⑥ ・遊びや生活の中で、長さや大きさを比べたりして、目的にあったものを選ぶ。⑧	・園外保育等で、標識に気付いたり、文字に親しんだりする。⑦ ・手摺り等で、数や形・図形等と関連づけて理解する。⑧ ・身近な生き物や自然物に親しみをもち、「もしかしたら」と考えて試してみたりする。⑨	・冬の自然現象に興味をもち、その冷たさや硬さ、溶ける様子等を観察する。さらに、どうしたら形状が変わるかを予測して確かめたりする。④ ・身近な生き物が冬の間にどこで過ごしているのかを保育者と一緒に調べる。⑤ ・仮説を立てて試す中で、ものごとの多面性に気付く。⑥
	言葉	・保育者や友達に自分のしたいこと、そしてほしいことを言葉で表現し、聞いてもらう喜びを感じる。⑩ ・担任保育者と一緒に絵本を読むことで安心する。⑪ ・自分の思いや困ったこと等を言葉で伝えようとする。⑫	・自分の思ったことや考えたことを言葉で表現しようとする。⑪ ・クラスの友達とみんなで集まって話をし、言葉で伝えたり相手の言葉を理解しようとする。⑫ ・絵本などに親しむことを通じて、イメージや言葉を豊かにする。⑬	・自分の思いや考えを言葉で伝えたり、友達や教育実習生の話に関心をもって聞いたりする。⑭ ・言葉で表現することで理解し合い、自分と相手の考えは時に異なることも知る。⑮	・自分の経験したことや思い、考えを相手に分かるような言葉で話そうとする。⑯ ・ごっこ等でやりとりしながら遊びを進める楽しさを味わう。⑰	・気持ちや考えを言葉で伝え合い、言葉を使う面白さや便利さを知る。⑦ ・保育者や友達と一緒に言葉遊び（女ざなぞやかるた）やかけ合いを楽しむ。⑧ ・図鑑やWeb教材等を活用しながら、人間の活動が環境に及ぼす影響を話し合う。⑨
	表現	・保育者や友達と一緒に歌ったり、動いたりすることを楽しむ。⑭ ・自分でつくったりかいたりした物を使って遊んだり、保育室に飾ったりする。⑮	・感じたことや考えたことを、様々な表現で伝え合うことを楽しむ。⑭ ・制作をした後で、あまったものをどうしたら再利用できるのが保育者と一緒に考えて大切に使う。⑮	・ハサミやノリ、絵の具など、様々な道具の性質を知り、選んで使って表現をより豊かにする。⑯ ・好きな制作や動き、歌などに満足いくまで取り組み、やり遂げる。⑰	・遊びに必要なものを工夫してかいたり、つくったりすることを楽しむ、使ったり飾ったりする。⑱	・歌ったり、踊ったり、お話遊びをしたりする楽しさも、友達と気持ちをそろえることでより面白くなることを知る。⑯ ・大きくなった自分を自覚し、その喜びを様々な方法で表現する。⑰
ねらいの成	命の安全	○環境に配慮し、安全で快適な生活ができるようにする。	○夏季の保健衛生に留意し、活動内容を工夫したり室温を調整したりして暑い中でも快適に過ごせるようにする。	○気温や活動内容に応じた環境を整え、快適に過ごせるようにする。	○気温や活動に応じた衣服調整・室温・湿度・換気配慮し、健康に過ごせるようにする。	○室内の換気や加温等、感染症の予防に努め、自分進で健康に過ごすための行動について考えられるようにする。
	情緒の安定	○1クラスの人数が増えることに配慮し、一人一人の子どもの気持ちを受け止め、信頼関係を築き、安心して過ごせるようにする。	○一人一人の子どもの気持ちを受け止め、意欲的に活動できるようにする。	○その子らしさを十分に受け止め、友達との関係の中での葛藤を経験するところを支え、安定できるようにする。	○保育者や友達と安定した関係の中で、満足感や達成感味わい、意欲的に生活できるようにする。	○一人一人の成長を認め、自信をもって様々な活動ができるようにする。
環境構成	環境構成	○身支度や降園準備、給食準備や片付け等、身の回りのことについて、方法や動機、指示などを工夫し、繰り返し伝えたり一緒にしたりする。①② ▲15人2クラスが1クラスになることで、しぐさや表情などからも気持ちを汲み取りながら一人一人を丁寧に受け止める。①④ ○園庭に挑戦したり、体を動かす気持ちよさを味わえたりするような環境を整える。③④⑤ ○年少組の時にしていた遊びができるように用具を整えたり、遊びに誘ったりする。③④⑥ ○子どもの興味や関心に応じた環境を多様に用意する。⑦ ▲子どものつぶやきや思いを大切にし、実現に向けて必要なものや方法を一緒に考え、実現していく⑧ ○前年度からの仲間の繋がりを楽しみながら遊べるように、扱いやすく、遊びの拠点を作れるような道具を用意しておく。⑦ ○クラスで集まった時には顔を見合わせながら一人一人名前を呼んだり、歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする。①③ ▲春の草花や園庭の生きものを保育室に飾ったり、探そうに誘ったり、興味をもったことを一緒に見たり調べたりする。⑧	▲水や砂、季節の花や生き物等との関わりを保育者も一緒に喜んで楽しんだりする。① ▲プールの前に水の危険について伝える。② ▲時間や子どもの様子に合わせてこまめに声をかけ、水分補給や休憩を促す。③ ○お部屋さんなどのごっこでは、子ども同士の距離が近くなり、自然とやりとりが増えるように環境を整える。④ ▲思いやりのある言葉や行動に気付き、それを言葉で認めていく。園生活や友達との関わりの中でそのルールや大切にしたいことを考えられるようきっかけをつくったり、保育者の思いを言葉で伝えたりする。⑤⑥ ▲「イヤ」と言えることも大切に保障している。 ○捕まえた虫を飼育したり、観察したりする。図鑑やWeb教材、メダカネタなどを用意して、一緒に調べる。⑨⑩ ○木の実や葉っぱを、色や形、大きさなどで分類して系列化して並べる。⑩	▲鉄棒、巧技台など、少し難しいことに挑戦する遊びやいろいろな体を動かす遊びを保育者も一緒に楽しみ、挑戦した気持ちやできるようになったことを具体的に認める。①② ○水を手に取りやすい場所に置いたり、水分補給する時間を設けたり、自分で気付くことができるよう声をかけたりする。③ ▲「ありがと」「助かったよ」という言葉を積極的にかけ、その子の頑張りがみんなの助けになったことを伝える。④ ▲子どもが興味をもって発見したのについて、さらに触れ合ったり、特徴を捉えたり、考えたりするに十分な時間を設け、一緒に図鑑やICTを活用して調べる。⑤ ○体験したことを言葉や描画、動きなど様々な表現の仕方ができるように環境を整え、互いに見合う。⑥ ▲実習生と親しめるような活動を取り入れたり、保育者も親しみをもって関わったりする。⑦ ▲言葉による伝え合いの機会を設け、自分の意見を話すとともに、相手の意見を聞く機会を大切にする。また、保育者が仲立ちして、考えを相互に伝える。④⑦⑨⑩ ○保育者も積極的に科学用語を使って話をする。⑧ ▲遊びや生活の中で、子どもが長さや大きさ、数を比べたり、違いの不思議さや面白さを感じていくことに保育者も一緒に考えたり楽しんだりする。① ○プール遊びでは、（顔を上げたり、浮かんたりすることにも取り組みるよう、子どもたちの様子を見ながら）プールの水深を徐々に深める。② ▲気の合う友達と自分の思いを出して遊ぶ楽しさに共感し、必要に応じてそれぞれの思いやイメージが伝わるように仲介する。④	○バランス、スピード、回転、体の傾き、力加減等、多様な感覚を味わえるように、様々な道具や用具を用意する。① ○生活の流れや役割を分かりやすくしたり、自分進で声を掛け合ってできるように声かけする。②③ ▲気の合う友達同士が目的を共有して遊んでいる時には、見守りながら一人一人が思いや考えを出せるように支え、協力したり、思いや考えを出し合ったりして遊ぶ面白さを感じられるようにする。④⑯ ○園外保育等で、年齢、職業等、さまざまな人がいることを気づけるようにする。⑤ ▲お楽しみ会などで、異年齢との交流を積極的に取り入れる。⑥ ○園外に出る機会などを生かし、標識や点字ブロックなどに気づけるように声をかけ、様々なコミュニケーションの手段があることを感じ、文字や標識が人と人をつなげる存在であることを知るができるようにする。⑦ ○平仮りなどで、数量図形についても説明したり、保育室に提示したりする。⑧ ○したい遊びのイメージが膨らむような道具や用具を使いやすいように並べたり、必要な用具を一緒に探したりして目的に合わせて道具や用具を選び、イメージしたことややりたいたことが実現していく面白さを感じられるようにする。⑧ ▲飼育している生き物や植物について、育て方や冬眠について調べたり相談したりしながら話をすることで、飼育している生き物について関心を深め、冬から春にかけての長期的な視点で考え、自分らの思いや考えをもちながら一人一人が責任をもって大切にできるようにする。⑨ ▲クラスみんなで話し話す際には、言葉を添えたり、順序立てて整理したりする。⑯	▲子ども同士で進めていけるように見守り、必要があれば声をかけたり、手助けする。①⑯ ▲これまでの経験を生かして、安全に気を付けて遊んだり、行動したりする様子を見守ったり、時には改めて話し合うことで確認したりする。② ▲できるようになったことや挑戦しようとする姿、以前より工夫しているところや粘り強く取り組んでいる姿等を丁寧に認め、保護者にも伝えて認めてもらう。③⑯ ○子ども同士が同じ目的を共有しやすいように、図にしたり、文字で計画を書いたりする。③
		＜共通＞ ▲一人ひとりに合わせた関わりを行い、信頼関係を築けるようにする。／ ▲個々の興味関心に沿ったタイミングで新しい素材や遊び方を提案する。／ ▲保育者も一緒に比べたり関連づけたりしながら遊び、その面白さに共感する。／ ○積極的に地域へ出かけ、お散歩等を通じて季節や人々の生活の変化を感じる。／ ▲クラスの活動や行事には、常に子どもたちの声を聴き、一緒に立ち上げていく。／ ドキュメンテーションなどを掲示し保育を可視化し子どもたちも利用可能なものとする。／ ▲友達同士で思いが行き違ったり、目的がずれていたりする場面では保育者も介入し互いの思いに触れられるようにする。／ ○道具や用具をみんなで大切に扱うよう促したり、用具の数を調整したり、片付け場所を整えたりする。				
食育		▲食材や調理名に興味をもって食べることができるように、給食のメニューを伝えたり、食材について話をしたりする。 ▲楽しく食事をするためのマナーを伝え、みんなで気持ちよく食べられるようにする。	○野菜を育て、世話をしたり収穫した野菜を味わったりすることで、旬の食べ物やその生長に興味をもてるようにする。 ○調理するところを見たり野菜を育てたりすることで、生産者や調理する人などを知り、感謝の気持ちをもつことができるようになる。	○食材の旬について話をしたり季節ごとのメニューを食べたりすることで季節の食材に触れ、関心をもてるようにする。	▲食べ物栄養や健康のつながりに気付けるように、話をしたり、絵本を見たりするところいろいろな食材を食べてみようと思えるようにする。	○お別れ会などで、他の学年の友達や園の職員と一緒に給食を食べる機会をもち、感謝の気持ちを伝えるとともに、一緒に食べることの楽しさを改めて感じられるようになる。
健康・安全		○一人一人の健康面やアレルギー等に配慮することについて、園全体で連携し、適切な対応ができるようにする。 ▲一人一人の生活リズムや体調に配慮する。 ○園庭や室内の道具や用具の安全点検を行い、遊び方や扱い方について保育者間で共通理解する。	▲熱中症にならないよう、こまめな水分補給を促すとともに気温や子どもの体調を踏まえて無理のない保育活動を行っていく。 ○プールで安全に遊べるよう、水位や水質の他に、プール周辺の環境の安全点検を丁寧に行う。	▲天候により気温の変化が大きいため、運動量や水分補給に配慮するとともに、休息を十分とれるようにする。 ○リレーや走ごっこ等を行う際には、子どもの動機や道具の配置を考慮し、安全に遊べるようになる。	▲感染症の流行し始める時期であることを伝え、養護教諭が行う保健指導と合わせ、手洗いの正しい方法を確認し、子どもが進んで行えるように援助する。	○室内の温度や湿度を確認しながら、必要に応じて、換気や加温を行う。 ▲寒くて体が硬くなったり、ポケットに手を入れたりする時がいつなりやすいので、体をほぐしたり、温めたりしてから遊べるようにする。
なかよしとの連携		○新しい環境に安心して移行できるよう、教育時間の遊びや生活の流れをなかよしタイムと共有し、場や道具の使い方をできるだけ同じようにする。 ▲子どもの不安や緊張、友達関係の様子を預かりに丁寧に伝え、どちらの時間でも落ちないよう過ごせるよう支える。	▲置きや水遊び・プール遊び等で疲れて出てくる。教育時 〔夏休み〕 ▲夏休みには、定期的な長時間の活動内容やその時の様子をなかよしタイム担当の保育者 間保育に担任も入り子どもたちの様子を伝える。また、個々の育ちの姿を【なかよし】の担当者と共有し、夏ならではの遊びを楽しむ中で、学びと生活の好循環を目指す。	▲年中組に見られた子どもの姿をなかよしタイム担当の保育者と共有し、環境構成に活かす。	▲午膳について保護者となかよしタイム担当保育者、担任で連携をして生活が不安定にもなりやすいので、【なかよし】との連携を確実に進める。 ▲感染症の状況や子どもの様子についても丁寧に連携する。	▲感染症の状況や子どもの様子について丁寧に連携する。
家庭との連携		・保護者と離れたい子どもについては、保護者と十分に連携し、保護者にも安心してもらうながら、その子どもに合わせて少し新しい環境に慣れ込けるようにする。 ・健康状態や家庭での様子を把握し、偏食やアレルギー等の配慮が必要な子どもについては、保護者とよく話し合いながら対応する。 ・一人一人の子どもの実態を把握するために保護者に子どもの家庭での様子や興味関心等を聞く。	・暑さにより体調を崩しやすく、水遊びやプール遊びもある中で、子どもの体調について、家庭との連絡アプリを活用したり、会話をしたりして互いに把握し、健康管理に努める。 ・子どもの成長を保護者に伝えたり、保護者から話を聞いたりする。	・夏休み明けの様子や、教育実習生との関わり等を伝えたり、家庭での様子を聞いたりして連携し、それぞれの子どもが園生活のリズムを取り戻し、安定して過ごせることができるようにする。	・子ども同士のトラブルは、発端の中で中絶案であるとともに、成長の機会であることを知らせ、理解を求めたい。同時に何かあった時には保護者の心配を受け止めて、順やかに状況を説明する。	・子どもの成長の姿を具体的に保護者に知らせ、成長の喜びを共有できるようにする。
		・保育参観や懇談会、クラスだよりを通して、子どもたちが楽しんでいることや頑張っていることを保護者にも共有し、家庭でも園でしていることが話題に上るようにする。／ ・行事のねらいやプロセス、行事を通して育ったことを保護者に伝え、子どもの成長を共有し、より実感できるようにする。 ・子どもたちの中で話題になっていることをドキュメンテーション等で紹介することで、家庭でも話題にしてもらったり、活動に必要な材料を依頼したり、場合によっては活動に参加してもらったり、子どもたちの学びが促されるようにする。				
行事・地域との連携		進級式、入園式、参観	遠足、じゃがいもほり、水遊び・プール遊び、お話の会、参観デー	教育実習、バス遠足、運動会、ウインドアンサンブル演奏会	にじいろデー（親子活動）、秋の遠足、お話の会、参観、お楽しみ会、附属中学校との交流	人形劇観劇、お話の会、豆まきの会、参観、お別れ会、卒園式